学校番号	1008

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	（学）総合造形演習	単位数	4 単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

将来にわたって、創作活動をおこなうために必要で基礎的な力を付けて、その上で、それぞれの志望する分野に合わせて試行錯誤を重ねながら、技術を磨いていきます。実社会において活躍できる力を身につけることを目指しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。
・それぞれの志望する造形的な分野に必要な表現に基づいて、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】
・幅広い造形活動を通して、美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
・生涯にわたり創作活動を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・それぞれの志望する分野に応じた表現方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫について考えるとともに、主題に応じた発想や構想を練ったりしている。 ・それぞれの志望する分野に対する造詣を深めたりしている。	・それぞれの志望する分野に対する関わりを主体的に表現したり、鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	造形の基礎的な演習	・大学入試や専門学校の入試で必要な共通する力を育成する課題を行う。(例、色彩構成やデッサンなど)	a:造形の要素の働きを理解している。 課題の意図に応じて材料や道具を生かすとともに手順や技法を吟味し、創造的に表している。 b: 目的や条件などを基に独創的な主題を生成し、主題に応じた表現効果を考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 c: 主体的に創造的な活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品 ワークシート	提出作品 エスキース等	観察 ワークシート 提出作品 振り返りシート
二学期	個別の入試対策演習	・それぞれの志望校ごとに傾向と対策を行い、それぞれの学校に応じた作品を制作する。(例:色彩構成、デッサン、イラスト表現など)		観察 提出作品 ワークシート	提出作品 エスキース等	観察 ワークシート 提出作品 振り返りシート
三学期	造形演習まとめ	・将来に向けて必要な造形的スキルの向上に向けての制作を行う。		観察 提出作品 ワークシート	提出作品 エスキース等	観察 ワークシート 提出作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度